

	提案者	指導助言者
技A	北澤 徹 (長井市立長井南中学校) 本間 史祥 (青森市立浦町中学校) 工藤 大聖 (青森市立西中学校)	佐藤 英喜 (酒田市立第三中学校 校長) 飯田 香久 (青森県総合学校教育センター 指導主事)
技B	伊藤 光佑 (酒田市立東部中学校) 小野寺貴史 (鶴岡市立鶴岡第五中学校) 菅原 理彦 (宮古市立川井中学校) 佐藤 清一 (五城目町立五城目第一中学校) 菅家 久貴 (八郎潟町立八郎潟中学校) 二田 元 (潟上市立羽城中学校) 秋山 政樹 (井川町立井川義務教育学校)	尾崎 惣 (尾花沢市立福原中学校 教頭) 加藤 佳昭 (岩手県立総合教育センター 研修指導主事) 斉藤 誠良 (秋田県総合教育センター 指導主事)
技C	三澤 正太 (東根市立第一中学校) 菅原 達也 (尾花沢市立尾花沢中学校) 坪井 斉 (田村市立大越中学校)	高橋 千雲 (山形県教育センター 指導主事) 伊藤 寛 (福島県教育庁義務教育課 指導主事)
技D	遠藤 隆平 (南陽市立沖郷中学校) 遠藤 祥平 (仙台市立南中山中学校)	伊藤 礼輔 (東根市立東郷小学校 校長) 佐藤 陽 (仙台市教育センター 指導主事)
家A	小松 夏子 (酒田市立第三中学校) 中鉢 羊子 (大崎市立古川東中学校) 西根美紀子 (仙北市立生保内中学校)	齋藤 博子 (酒田市立鳥海八幡中学校 教頭) 高田亜希子 (宮城県総合教育センター 指導主事) 部谷 靖子 (秋田県総合教育センター 主任指導主事)
家B1	上野 純子 (庄内町立余目中学校) 飛内 宏美 (むつ市立田名部中学校)	秋葉 由紀 (中山町立中山中学校 教頭) 小野 育恵 (青森県総合学校教育センター 指導主事)
家B2	長倉千賀子 (新庄市立明倫学園) 嶋原 康子 (福島市立岳陽中学校)	木戸 恵美 (山形県教育センター 指導主事) 佐瀬 千恵 (福島県教育庁健康教育課 指導主事)
家C	佐藤 綾子 (米沢市立第一中学校) 村尾 恭兵 (盛岡市立上田中学校)	平 千秋 (高畠町立屋代小学校 校長) 八重樫英広 (八幡平市教育委員会 主任指導主事)

10 大会参加申し込みについて

- (1) 大会参加費 (資料代) 4,000円 昼食代 (希望者) 1,100円
- (2) 申込期間 令和6年7月8日 (月) ~ 9月20日 (金)
- (3) 申込方法 以下のサイトよりお申し込みください。

第63回全日本中学校技術・家庭科研究大会
第64回東北地区中学校技術・家庭科教育研究大会 山形大会
<https://www.yamagata-gjika.site>



11 分科会資料・詳細日程について

分科会の当日の指導案、研究資料等は、上のサイトにアップします。参加される分科会のページより各自でプリントアウトし、当日ご持参願います。
また、大会にむけての最新情報等もアップしますのでご覧ください。

12 お問い合わせ (大会事務局)

山形県中学校教育研究会技術・家庭科部会 事務局長 山形市立第二中学校 教諭 黒沼 和幸
〒990-0853 山形県山形市西崎 62 番地 TEL 023-644-3902 FAX 023-645-8253
E-Mail : k.kuronuma@dai2-j.ymgt.ed.jp

各教育委員会教育長 様
各国・公立・私立中学校長 様
各中学校技術・家庭科担当者 様
関係 各位

第63回全日本中学校技術・家庭科研究大会
第64回東北地区中学校技術・家庭科教育研究大会
山形大会 大会実行委員長 丹羽 英樹

第63回全日本中学校技術・家庭科研究大会
第64回東北地区中学校技術・家庭科教育研究大会

山形大会のご案内 (最終案内)

時下、皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび、第63回全日本中学校技術・家庭科研究大会並びに第64回東北地区中学校技術・家庭科教育研究大会を山形県山形市にて開催いたします。

本大会では、研究主題を「未来社会を生き抜くための資質・能力を育む技術・家庭科教育」として、実践研究を進めています。

つきましては、貴職をはじめ、多数の皆様よりご指導・ご助言を賜りたく、ご案内申し上げます。

大会開催要項

- 1 主催 全日本中学校技術・家庭科研究会
東北地区中学校技術・家庭科研究会
山形県中学校教育研究会技術・家庭科部会
- 2 後援 文部科学省 山形県教育委員会
山形市教育委員会 寒河江市教育委員会 山形県中学校長会
公益社団法人 全国中学校産業教育教材振興協会
一般財団法人 山形県教育共励会
公益財団法人 日本教育公務員弘済会山形支部
- 3 期日 令和6年11月14日(木)【会場：山形テルサ】
午前：全国理事会
午後：全体会
令和6年11月15日(金)【会場：山形市立第三中学校】
午前：公開授業・授業分科会
午後：内容別分科会

4 日程

第1日目 令和6年11月14日(木) 全国理事会 全体会

10:00 10:30 12:00 12:15 13:00 13:50 15:05 15:20 16:25

受付	全国理事会		一般 受付	開会式	全体発表 協議	休憩	指導 講評	閉会式
----	-------	--	----------	-----	------------	----	----------	-----

第2日目 令和6年11月15日(金) 公開授業 授業分科会 内容別分科会

9:30 10:10 10:30 11:20 11:40 12:50 13:50 15:40

受付	連絡	公開授業	授業分科会 指導講評	昼食 休憩	内容別分科会 指導講評	閉 会
----	----	------	---------------	----------	----------------	--------

5 研究主題

「未来社会を生き抜くための資質・能力を育む技術・家庭科教育」 ～創造的な問題解決の実践を通して～

主題設定の理由

変化の激しい社会や予測困難な未来社会を、自らの力で力強く拓き、「生き抜く」ために、様々な出来事や状況に対して、主体的に問題を見だし、課題を解決する力や新たなものを創り上げる力を育成することが重要である。

さらに、山形県で長年に渡り研究と実践を積み重ねてきた「技術・家庭科の学習スタイル」の深化と発展とともに、生徒が「創造的な問題解決」を実現できる授業づくりを目指し、副題として設定した。

本県では昭和57年第21回の全国大会を山形市で実施し、課題解決のための5段階として、「問題発見」、「課題の焦点化」、「解決方法の明確化」、「解決の試行」、「新しい問題に気付く」の学習過程の提案をした。その後も、生活に生かせる技術・家庭科教育を目指して研究を推し進め、問題解決的な学習のスタイルを検討し、実践してきた。その大きな成果を土台としながら、さらに指導者と生徒が未来に向けて、前向きな一歩を踏み出せる技術・家庭科の授業づくりを追究してきた。

それらをさらに、主体的に自らの手で解決方法を見いだすことや、新たなものをプロデュースするなど「創造性のある問題解決」のためには、学んだことや経験を実生活で生かすことができるレベルまでの深化・発展的な学びが不可欠であり、「深い学び」の実現を研究の柱として研究主題を設定した。

6 会場

○山形テルサ

〒990-0828 山形市双葉町一丁目2番3号 電話 023-646-6677

○山形市立第三中学校

〒990-0828 山形市双葉町二丁目1番10号 電話 023-644-3903

【JR】山形駅より徒歩5分

【山形自動車道】「山形蔵王IC」から15分

【東北中央自動車道】「山形中央IC」から15分

※駐車場は会場周辺の有料駐車場をご利用願います。

7 指導助言者

○全体会指導・助言

文部科学省 初等中等教育局教育課程課 教科調査官 情報教育振興室 教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 渡邊 茂一様
文部科学省 初等中等教育局教育課程課 教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 熊谷有紀子様

○授業別分科会・内容別分科会 東北地区関係教育機関指導主事等

8 公開授業（授業の内容について）

第1授業分科会 B 生物育成の技術 山口 広和（山形市立第四中学校）

世界的な気候変動が見られる中で、山形の冬季野菜栽培について考え、課題解決に取り組んでいく。これまでの授業で2回の栽培経験から学んだ知識や技能を生かすとともに、本時では、冬季の山形の気候を考えながら、課題を設定しラディッシュを育てていく。そして、課題解決のための対策や工夫を考える。

指導助言者 尾崎 惣（尾花沢市立福原中学校 教頭）

第2授業分科会 C エネルギー変換の技術 阿部 佑介（山形市立第九中学校）

「ゼロカーボンやまがた2050」を受けて、ゼロカーボンの中学校生活を目指すためには、どのようなことが可能なのか、グループ活動を通して、生徒一人一人に考えさせたい。本時では、個人として可能なこと、学級や学校など、集団として可能なことを議論し、「提言」を考える。

指導助言者 高橋 千雲（山形県教育センター 指導主事）

第3授業分科会 D 情報の技術＜事前録画＞ 押野 一司（寒河江市立陵南中学校）

AIの機械学習アプリとマイコンボードを用い、サクランボを選別するシステムを構築する。本時ではシステムを構想し、プログラミングで解決する方法を話し合う。また、AIに判定させるためには、どのような方法で機械学習をさせると精度が上がるのかについてもアイデアを練り、解決に向けて実践する。

指導助言者 伊藤 礼輔（東根市立東郷小学校 校長）

第4授業分科会 B1 衣食住の生活（食生活） 横山 裕美（山形市立第六中学校）

ゲストティーチャーの講話や調理実習などを通して山形の伝統野菜や生産者の思いなどについての理解を深める。本時では、地域の食文化について知ることの意味を深く考える活動を行う。これまで受け継がれてきた地域の食文化を継承していくことの意味を考え、実践する意欲につなげる。

指導助言者 秋葉 由紀（中山町立中山中学校 教頭）

第5授業分科会 C 消費生活・環境 小松 愛美（山形市立第三中学校）

地球温暖化などの環境問題が深刻化している原因に自分達が関わっていることに気付いた生徒が、実生活を見つめ直し、自分ができる事を考え実践する。本時は生活の中から自分たちの行動による原因追及を基に、多角的、多面的な視点から解決策を検討する。さらに思考ツールを用いて分析し、実践のための課題設定をする。

指導助言者 木戸 恵美（山形県教育センター 指導主事）